

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370200418
事業所名	ちから館とくがわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	近所への散歩、買い物、美容院への外出時には地域の人と挨拶を交わしたり町内の見守り協力の要請を引き受け協力している。定期的に傾聴ボランティア、菊武学園の学生のボランティアを受け入れて利用者と交流を深めている。また1階の集会場を老人会や自治会に提供し町内の獅子祭には交流が図られている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組 (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議はいきいき支援センター職員、民生委員、家族、自治会長、町内会長、職員の参加で二カ月毎に行なわれている。施設長により毎回テーマを決めて(ノロウイルス、回想法、夏の過ごし方等)勉強会が開催され出席者に好評である。今年度は町内の見守りの要請を受け協力している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市役所の担当者とは電話連絡したり、書類の提出やホーム便りを持参する際にホームの現状等周知して貰えるよに努めている。名古屋市の要請で区ごとの認知症ケアパスの冊子の作成メンバーに職員も参加し完成させている。市主催の研修に職員は参加し勉強会で報告し共有されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族には電話連絡の他にホーム便りを送付しその際に利用者の写真や状況を伝えている。また面会時に出された意見要望も職員間で共有し話し合って希望に添えるように努めている。家族会も年一回開催され全家族の参加が得られている。その際にも職員はコミュニケーションを図り、利用者と一緒に食事会やレクリエーションを行い楽しい時を過ごして貰っている。利用者とは日常的に、特にリラックスできる時(入浴時)等に要望、意見の収集をしケアに反映している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○			